

令和6年9月4日 京都府国土利用計画審議会(土地利用計画部会)における委員からの意見等に係る中間案への対応について

委員意見等	対応部分	備考
<p>1 土地利用の転換について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の土地の利用区分を考慮せずに土地利用の転換がなされると、5地域区分の白地地域が虫食的に発生するおそれがある。適した場所での土地利用の転換という趣旨の文章を可能であれば、入れていただきたい。(岡井委員)</li> </ul>	<p>(ア) 地域全体の利益を実現する最適な土地利用・管理</p> <p>(略)</p> <p>なお、森林、原野等、農地、宅地等の相互の土地利用の転換については、人口減少下においても一定量が見込まれるが、土地利用の可逆性が低いことに加え、生態系や健全な水循環、景観等にも影響を与えることから、地域社会の持続性や転換後の土地の周囲との調和を重視する観点も含め地域全体の土地利用を俯瞰的に捉え、社会的状況や転換の規模等多様な要素を総合的に衡量しつつ、慎重な配慮の下で計画的に行うことが重要である。</p>	<p>▶本文 P 9 参照</p>
<p>2 交通結節点の強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モーダルシフトについて考慮した上で、例えば、交通結節点の強化や整備のような記載が入っていてもいいと考える。(宇野部会長)</li> </ul>	<p>(キ) 交通基盤の整備のための土地利用・管理</p> <p>(略)</p> <p>人流の観点からは、丹後地域から山城地域までの各地域において、個性豊かな文化が築かれ、行祭事などが生活や地域の中に息づいていることから、このような地域の文化・景観資源を生かした道路空間を形成し、地域の豊かな文化を継承し、また、これらの地域同士を相互に結び周遊しやすくすることにより、地域の魅力向上を図る。</p> <p>災害の観点からは、災害が発生しても、生命線である緊急輸送道路や重要物流道路及び代替補完路が寸断されないように整備・強化を図るとともに被災地の迂回路となる府道の機能強化など、道路整備の推進を図る。</p> <p><u>さらに、物流や交通における交通手段の転換の観点や土地利用の変化に伴う交通需要の変化の観点も含め、駅の交通結節機能の再構築と駅へのアクセスなど持続可能な地域交通ネットワークの確保に向けた取組を推進し、駅周辺の賑わいの創出や地域外との交流促進などを図る。</u></p>	<p>▶本文 P 15 参照</p>